

# 明德短大生が四国遍路

ゴールの前神寺山門をくぐる明德短大生  
(写真提供・中国新聞社)



旅のスケ 寺をスタートした。

ジュールから 行程は五日間かけて六  
白装束まで全 十四番前神寺まで約百六  
て自分の手で 十キロ。山坂を考えると  
作り、四国遍 少し強行軍だが、一年生  
路へ。 七人と同伴教職員三人

明德短大 (一部教員は途中交代)  
が参加した。

(今治市)は今年度から遍 路体験学習を正規のカリ  
キュラムに取り入れた。  
四月から遍路の歴史や 地域文化との関りなど十  
五回の講義を受け、九月十  
七日、四十五番札所岩屋

○最大の難所は標高八〇  
メートルにある横峰寺

に至る坂道 途中から雨も  
降りだし、参 加者にとって  
試練の最終日 になった。  
体調を崩し てリタイアし  
た者もでた が、予定より  
一時間遅れて 午後四時、最  
終目的地の前

神寺に到着、 迎えるバス  
に乗り帰路についた。

今回の企画について星 島一夫学長は「歩き遍路  
体験を地域文化論として 授業に組み入れることは、  
大学教育の個性化に結び つく。自立心、忍耐力、  
連帯感を身につけ、自然 との共生、地域文化に関  
心を持つ人づくりを目指 したい」と話している。